



# ばいりん

令和6年1月号

横浜市立梅林小学校

TEL 045-773-0341

FAX 045-772-4862



## 新しい年を迎えて

校長 芦垣 幸代

2024年、令和6年を迎えました。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。穏やかなお正月となるところ、元日に起きた能登半島地震は、甚大な被害が報告されています。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。昨年は新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、日々の給食、行事や活動を制限なく行うことができました。様々な教育活動を、梅林小学校の保護者の皆様、地域の皆様にご理解ご協力いただきながら皆様と協働して進めてこられていることを、年頭にあたり改めてお礼申し上げます。

12月に児童のボランティア委員会の取組によりユニセフ募金が行われました。配布されたユニセフのちらしを折って募金を入れる封筒にすることができたのですが、そこに、「すべての子どもに□を」と書いてあり、自分で考えて記入できるようになっていました。私も「希望」「教育」と、いくつか思い浮かんだのですが、「平和」と書き込みました。

私の両親は戦前の生まれで、先の大戦を経験しています。私が子どもの頃からよく戦争の話をしてくれました。終戦時、両親は小学生で家族の中に戦争で亡くなった人もいなかったこともあり、話すことがつらいというほどではなかったのだと思います。それでも、よく母は「おばあちゃん（母の母）は、本当に大変だったと思う。子どもたちに食べさせるために自分は食べずに働いていた」と、言っていました。何より戦争は二度と起こしてはいけなと。私も、子どもの頃は、戦争のない平和はずっと続くのだらうと漠然とっていました。

しかし、今、世界では戦争や紛争がなくなり、昨年も多くの方が命を落としました。「どうしてこんなことが」と思うとき、それぞれの国や地域が自分たちの正義のもとに戦っている難しさを感じます。子どもたちもそうですが、何かトラブルになるとき、自分が間違っているとわかって行うことは少なく、「自分は正しい、相手が間違っている」という思いからトラブルになることが多く見られます。しかし、「正義はいくつもある」という言葉があるように、正義を主張するだけでは解決しません。だからこそ、相手がどう考えたのかを知り、なぜそうしたのかを知ることが大切で、梅林小学校でも、自分との違いを知り、違いがあることを受け入れるということを積み重ねています。ただ、自分の正義のためであっても、人の命を奪う、暴力をふるう、暴言を吐くということは、決してしてはいけないことです。そのことは、学校、保護者、地域が共に、子どもたちに教えていくことだと考えます。

子どもたちが持続可能な社会の創り手となるよう、身のまわりの課題を「自分には関係ない」「未来の課題だから」と考えないのではなく、疑問をもち、考え、計画を立て、行動する力を育みたいと思っています。同時に、私も、私たち大人も、できることを行動にうつしていけたらと思いました。

本年も教職員一同、心を合わせて子どもたち一人ひとりの健やかな成長のため、尽力してまいります。どうぞよろしく願いいたします。

